

- ▶ 本県の令和4年スギ素材生産量は年間187万m³あり、平成3年から32年連続日本一であるが、伐採や造林などの事業量の拡大による労働力不足や、林業就業者の高齢化が進んでおり、担い手の確保が大きな課題となっている。
- ▶ このため、「みやざき林業大学校」において、本県林業・木材産業のニーズに対応した各種の研修を効果的に実施し、実践的な人材を育成した。

□ 事業内容

1 「みやざき林業大学校」担い手育成総合研修事業

- 実践的な知識や技術、技能の習得に加え、意欲と能力のある林業経営者の養成及び青少年への森林・林業教育等を実施

【事業費】90,990千円（うち譲与税61,914千円）

【実績】

- ①みやざき林業大学校「長期課程」：22名
実践的な知識や技術・技能を身に付け、即戦力となる人材の育成
- ②みやざき林業大学校「短期課程」：329名
林業作業士養成研修等
- ③みやざき林業大学校「公開講座」：101名
中学生、高校生への森林・林業教室等



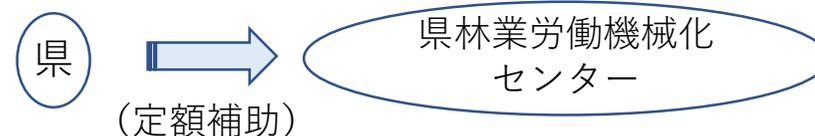
（長期課程：第5期生）



（公開講座：高校生への森林・林業教室）

□ 事業スキーム

- 1 短期課程「林業作業士養成研修」



- 2 1以外については、県直営等にて実施

□ 工夫・留意した点

- 長期課程では、林業の基礎から技術習得のための実習に加えICT等最新技術等を学ぶとともに、林業就業に必要な（全国の林業大学校で最多の）17の資格を取得。
- 民間企業や林業事業体、行政が一体となった就学・就業・定着を見据えたオールみやざきの支援体制を構築（令和6年3月末現在で94団体）。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2,020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より、